

観光情報の拠点が駅前誕生

町の観光・特産品・地域の文化、イベント情報などの提供と地域コミュニティの拠点としての活用を目的とした「鏡石まちなか情報交流館(愛称:かんかん館)」が8月5日開館しました。今月号では、開館して間もない「かんかん館」がどのような施設なのかを探ってみます。



● テープカットでオープン

かんかん館は8月5日(水)開館し、関係者約80人が出席して同日オープニングセレモニーが行われました。式典では、初めに、町観光協会長の木賊町長が「楽しいひとときを過ごせる施設になることを願います。今後、観光などの情報を発信して参ります」とあいさつ。続いて、関係団体の代表者6人によるテープカットが行われ、アトラクションとして鏡導真太鼓による太鼓の演奏が披露されました。

即売会、かき氷などが無料で配布され、会場は、大勢の来場者でにぎわっていました。

● 開館時間は午前9時から午後5時まで

かんかん館は、町観光協会が事業主体となり、年末年始を除く午前9時から午後5時まで毎日開館しています。一歩中にはいると、観光協会の職員とおもてなしボランティアの方々が皆さんのご来場をお待ちしています。展示品などには、各種観光パンフレットのほか、特産品などのサンプル、観光マップやポスターなどが展示してあります。

● おもてなしボランティアを募集

かんかん館では、施設の運営に協力していただける「おもてなしボランティア」を募集しています。自由な時間をボランティアとして使ってみませんか。

● 問い合わせ先

かんかん館
☎ 62-1105

『かんかん館』座談会



▲(写真左から)藤島恵子さん、友坂周子さん、上野敏子さん、柳沼光子さん

かんかん館におもてなしボランティアとして参加している代表の4人の方にお話を伺いました。集まった皆さんがどんな意見をお持ちなのかお知らせします。

- ・「牧場の朝」のピーアール
- ・観光ビデオの上映
- ・教室の開催
- ・鳥見山公園や駅など町内各所でのピーアール
- ・来場者からのアンケート聴取

以上のように、どのようにに宣伝していくかが開館当初の課題のようです。皆さんのご意見をお聞かせください。

●小会議室としての役割を持つスペース。こあがりになっていて、ゆっくり、ゆったりくつろげる場所になっています。お友達が集まり、たくわん片手にお茶を飲みながら時間を過ごしてみたいかがでしょうか。



●大きく見やすい観光マップで観光ルートを確認。じっと見つめると新たな発見があるかも知れません。町の特産品などをお知らせするために、商品名と販売しているお店を表示するサンプルが展示してあります。



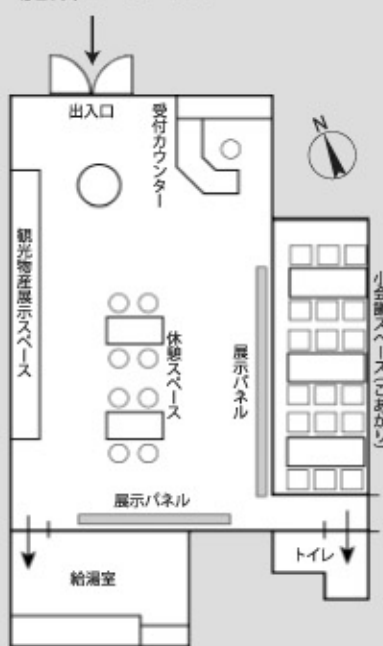
●町の観光パンフレットだけでなく、近隣や県中地域の観光パンフレットも備えられています。ご自由にお持ち帰りください。



9月から物販が始まります

9月から施設内で「岩瀬牧場アイスクリーム」「たまり漬け」などの特産品と、子ども向けに駄菓子などの販売を始めます。また、みなさまからご要望の多い農産物の販売についても現在検討しておりますので、楽しみにお待ちください。

施設レイアウト



施設の概要

- 名称
鏡石まちなか情報交流館
(愛称:かんかん館)
- 面積
81.3㎡(約24坪)
- 開館時間
午前9時~午後5時
※年末年始を除く
- 設備
展示スペース
小会議スペース
交流スペース
展示パネル など
- イベント
朝市(月1回程度)
岩瀬農業高校生徒によるチャレンジショップ